

目 次

まえがき	1
水谷伸治郎（年代測定資料研究センター長）	
（１）業績報告	
1. 風蓮湖周辺地域における完新世後半の古環境	4
大平明夫・海津正倫・浜出 智（文）	
2. 四国南部の溺れ谷低地における完新世後半の古海水準	11
浜出 智（文）	
3. 中国雲南省ディエンチ湖畔の貝塚の年代	16
吉良竜夫（滋賀県琵琶湖研）	
4. ボーリング調査による地震履歴の推定－山形県庄内平野東縁活断層調査－	19
鈴木康弘・堀 正和・松尾 稔（工）	
5. チベット東南部ポテチュー谷における木片および埋没土壌の年代と その古環境復元上の意義	27
岩田修二（三重大学人文学部）	
上田 豊・大畑哲夫（水圏研）	
6. 古人類・考古資料の年代学的諸問題に関する骨の加速器 ¹⁴ C年代測定（Ⅰ）	36
松浦秀治（お茶の水女子大生活科学部）	
近藤 恵（東京大学理学部）	
中村俊夫（年代セ）	
中井信之（地球科学研究所）	
7. アミノ酸のラセミ化反応による海底堆積物の年代測定について	45
原田尚美・半田暢彦（水圏研）	
8. 沿岸－海溝系における物質輸送過程について	53
半田暢彦・杉本多津宏・伊藤雅彦（水圏研）	
才野俊郎（東京大学海洋研）	

9. 愛知県南設楽郡作手村の大野原湿原及び長ノ山湿原堆積物の ^{14}C 年代測定	61
中村俊夫・池田晃子・太田友子（年代セ）	
大野原湿原研究グループ	

10. ^{14}C 年代測定における炭酸カルシウム質試料の調製方法についての検討	73
池田晃子・太田友子（年代セ）	

11. 大気中メタンの炭素同位体比測定とその挙動解析（Ⅰ）	77
－微量メタンの濃縮・分離とその炭素同位体比測定－	
森泉 純・永峰康一郎・飯田孝夫・池辺幸正（工）	
中井信之（地球科学研究所）	

（2）中井信之教授退官記念講演

加速器質量分析による年代測定法の大改革	85
中井信之（理学部地球科学科 名誉教授）	

（3）名古屋大学タンデトロン加速器質量分析計シンポジウム報告 「タンデトロン加速器質量分析計を用いた ^{14}C 年代測定の利用による 地質学・地理学的研究の新展開」

1. シンポジウム開催の主旨	107
中村俊夫（年代セ）	
2. 名古屋大学タンデトロン加速器質量分析計による ^{14}C 測定と 共同利用の現状（1992年度）	110
中村俊夫・池田晃子・太田友子（年代セ）	
3. タンデトロンによる第四紀後期火山噴出物測年の現状	127
坂本 亨（人間情報学研究科）	
中村俊夫（年代セ）	
4. テフラから見た中部日本の後期更新世編年の諸問題	135
－陸成層の層序区分を中心に－	
竹本弘幸（駒澤大学）	

5. 加速器 ^{14}C 年代測定による野尻湖層の編年	164
－野尻湖における火山灰層序及び人類考古の研究に関連して－	
沢田 健・公文富士夫・秋山雅彦（信州大学理学部）	
中村俊夫（年代セ）	
中井信之・有田陽子（理学部）	
野尻湖人類考古グループ	
6. 北日本における最終間氷期以降の古気候の復原	177
加藤茂弘（兵庫県立人と自然の博物館）	
7. 第四紀研究において加速器 ^{14}C 年代測定に期待されること	192
藤井昭二（富山大学教養部）	
8. 昆虫化石を用いた完新世後期における古環境解析	200
森 勇一（三重大学生物資源学部）	
9. 草食動物化石を用いたAMS ^{14}C 年代測定とその $^{13}\text{C}/^{12}\text{C}$, $^{18}\text{O}/^{16}\text{O}$ による	209
古環境解析の可能性	
中井信之（地球科学研究所）	
吉田尚弘・金田英樹（富山大学理学部）	
森 育子（太陽地球環境研）	
中村俊夫（年代セ）	
10. シンポジウム参加者名簿	223
（4）名古屋大学加速器質量分析計に係わる卒業論文および	224
博士課程修了論文リスト	